「エコシティたかつ」学校流域プロジェクト　環境学習授業実施報告書

実施日時	2011年11月7日(月)　9:30～10:15
実施場所	下作延小学校
実施対象	3年生2クラス(67名)

実施内容　　箇条書き等で分かりやすく記入

1　授業内容　下作延小学校ビオトープ再整備記念・セレモニー(ビオトープの生きもの放流式)
　(1)開会宣言(児童)
　(2)校長先生挨拶
　(3)区長挨拶
　(4)ビオトープの説明(小林)
　(5)メダカ・ヤゴの放流、セキショウの植栽式　(1組2組に分かれて放流)
　　1組　メダカ・ヤゴの放流　セキショウの植栽
　　・児童代表　ヤゴ(シオカラトンボ)3匹　メダカ13匹放流　セキショウ植栽
　　2組　メダカ・ヤゴの放流　セキショウの植栽
　　・児童代表　ヤゴ(シオカラトンボ)3匹　メダカ13匹放流　セキショウ植栽
　(6)開会宣言(児童)

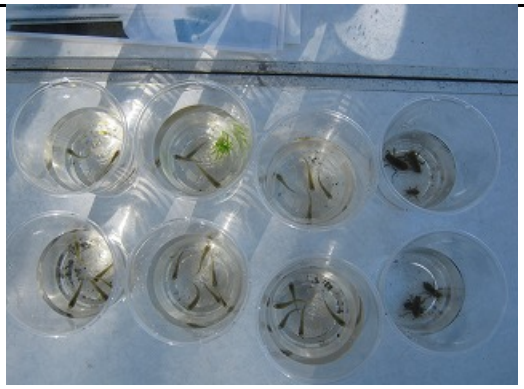
2　事前・事後作業
　・事前　児童代表による放流のため、メダカ、ヤゴをコップに分ける。
　・事後　手が届きにくい場所に、残りのセキショウを植える。
　　今後、ビオトープが整備しやすいように、落ち葉を取り除き、藻を間引いた。

生物・植物　　池のビオトープは確認できた生きもの、蝶のビオトープは植えた植物等を記入

コイ、フナ、メダカ、シオカラトンボのヤゴ、アカトンボ(つがい)

問題点・気付いた事・その他

・船橋区長が児童に、「ビオトープって何だか分かる人」と聞くと、5、6人の手が挙がった。
・小林事務局長からシオカラトンボのヤゴが10匹いたとの報告に児童の歓声があがった。
・児童から放流できてうれしかった等感想をいただいた。
・セレモニー終了後、早速ビオトープの周りにトンボが来ていた。

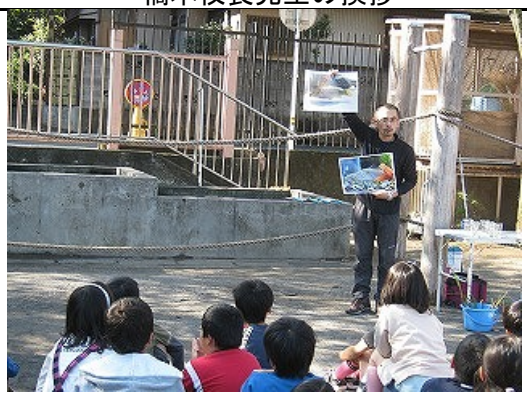


放流するメダカとヤゴ

放流するためのセキショウ

橋本校長先生の挨拶

船橋区長の挨拶



ビオトープの説明

メダカ・ヤゴの放流

セキショウの植え付け

閉会の挨拶